

《Miasa Community Design》

森の授業

美麻小中学校四年生の森の授業が今日行われました。学校ができた当時に生えたと思われる白樺の木を切る体験をし、これからの授業の材料をとりました。さまざまな学校にある十五種類の木についても紹介があり、木について調べることになりました。

昨年からは、子供達の希望で始まった授業ですが、林業家の皆さんと工芸家の皆さんが先生です。近くにいた下級生が来年自分たちもやれるんだよね？と話していたようです。

この授業はまだまだ引き継がれるのでしょうか。美麻らしい、美麻ならではの、地域力による授業です。先生も保護者も楽しんでしまう授業。皆さんに感謝。



71

2019. 9



facebook



ホームページ美麻Wiki

《 地域の話題 》

美麻いーとこよっとくれフェア開催(8/10)



子供たちの動きが慌ただしくなってきた。『始めます。』の声。一目散にプールに入り込む子はパンツ一丁だ。かたや恐る恐る中を覗き込み周りをみて慎重に水に入る子供。それぞれ家族の期待を一身に背負っての、今晚のおかず（お昼のバーベキュー）獲得任務。炎天下の死

力を尽くす戦いが始まった。よっとくれフェア最大のイベントだ。

水しぶきを浴び、ふと、こどもの頃を思い出した。水中メガネ（記憶の中ではつけている）越しから見える普段では見ない水の中の景色。岩陰に隠れている魚（通称 アカウオ）をみつけたときの心臓の高鳴り、そ〜と両手を使って魚に触れた瞬間のなんとも言えない気持ち。一気に岩に魚を押さえつけ勝負が決まった。「逃げた」そんな記憶がよみがえった。

自然の中で魚つかみをしなくなったのはいつ頃だった？お膳立ての無い自然とのふれあいがあるといいのだが。

ぼかぼかランド美遊の活性化を目的に始まったと記憶している「よっとくれフェア」子供たちにとって、美遊で夏休みに魚とふれあった記憶が残ってくれて、また大人になって家族を連れて遊びに来てくれればいいな。

夏季球技大会開催(8/16)



美麻小中学校で夏季球技大会を開催しました。ソフトバレーとグランドゴルフに約150名が参加、小学生から高齢者までそれぞれの種目に汗を流していました。

残念ながら、今年はゲートボールの参加チームが少なく中止となり、また、ソフトバレーも男女混合一種目とさせていただきますが、昨年とほとんど変わらない参加人数となりました。高温による熱中症も心配されましたが、ケガもなく、住民相互の親睦を深める事ができたと思います。<美麻公民館>

今年も元気に踊りました

今年の猛暑、酷暑の中での「やまびこまつり」暑さ対策は？と考えながら道の駅で友人と待ち合わせて会場へ向かう。バスの中は快適そのもので暑さ対策を忘れさせる。車中には、初めて見る人もいて新鮮な面持ちである。各所で参加者を乗せ集合場所の合同庁舎駐車場に到着、舞台前の腹ごしらえをして身支度を整える。ふと周りを見ると、いつの間にか車中の人数より大幅に増え、いやがおうにも高揚感が湧いてくる。準備が終わり全員で出発場所へ向かう、会場に着くと大町にもこんなに人がいたのかとビックリするほどの、人また人、人で溢れている。踊りが始まると会場は熱気ムンムン、日ごろのストレスを吹き飛ばすパワーで皆踊り狂い、最後



尾にはエネルギー補給隊が配備されているところがまた最高。踊り連の皆さんのパワーにあふれるほどの元気さを見て「大町市まだまだ元気あるじゃん」と改めて思った次第である。



今年、文部科学大臣杯第75回全日本大学対抗選手権自転車競技大会（インカレ）として、全国から男子の部194人、女子の部30人の選手を迎え9月1日に開催されました。

レースは秋空の中、1周13.4kmのコースを、女子は5周（67km）男子は13周（174.2km）で争われました。優勝は、

女子の部：福田咲絵さん＝慶應義塾大学、男子の部：武山晃輔さん＝日本大学でした。参加された選手の皆様、遠方より応援に来られた保護者の皆様お疲れさまでした。ボランティアとしてご協力いただきました皆様大変ありがとうございました。

いつまでもお元気で

美麻地区敬老会が9月13日にほかほかランド美麻で行われました。75歳以上の対象者は約200名のうち、70名の参加がありました。

賀寿のお祝いは保育園の子どもさんから渡されました。美麻保育園のみなさんの歌や踊り、フラダンス、民謡などを楽しみながら、みなさんたくさんお話しされていました。現在地区最高齢は二重の女性で数え102歳と紹介がありましたが、生まれた年は大町地震があったそうです。

実行委員会のみなさんご苦労様でした。



《地域の話題》

木崎湖でSUP & カヌー体験



8月1日木曜日、美麻地区子ども会育成協議会の体験事業として、大人7名、子ども23名に参加

していただき、木崎湖でSUPとカヌーの体験をしました。

(SUPとは、サーフボードのようなボードの上に立って乗り、パドルで漕いで水面を進むスポーツです。)

午前中は2組に分かれて、それぞれの種目を体験し、特にSUPでは、大人はバランスを崩しボードから落ちるのですが、子どもたちの多くは、ライフジャケットを着用していることの安心感もあり、わざわざ湖に飛び込み泳いでいました。

午後はモーターボードに乗船し、子どもたちは(もちろん大人も)マリンスポーツをおおいに満喫していました。

<子ども会育成協議会事務局>

大町の伝統工芸で修了証書・卒業証書づくり

8月29日、『信州 松崎和紙』の腰原さんから伝統の紙すき技術(和紙づくり)を教えてくださいました。6年生は小学校課程の修了証書を、9年生は小中学校の卒業証書を作りました。腰原さんが簡単にやっていることも、実際に自分の手で行うとなかなかうまくいきません。微妙な水の流れ・麻の繊維の動きを感じながら腕を動かす職人の姿に、目を奪われました。

自分の証書を自分の手で作ることができる喜びを感じながら、この証書を受け取る時の自分たちの姿を想像する子どもたち。美麻の学校生活での思い出と、未来に向けた期待を練り込むように、大事に大事に自分の証書を完成させました。

(文責 竹村沙織)



もう卒業証書かあ…。卒業なんてまだまだだと思っていたのになあ…と思いました。腰原さんに教わって、きれいに作ることができてよかったです。色々な意味で、笑顔で卒業したいです。(9年 巻田陽也さん)

「松崎和紙」で紙すき体験

美麻小中学校にて保育園の年長さんも一緒に参加させていただき、紙漉き体験を行いました。

「むずかしかったけれどたのしかった。(あお)」
「おおきなかみをつくってたのしかった。(かづき)」
「かみづくりむずかしかった。(かいと)」
「いろをつけられてたのしかった。(かえな)」
「おはなをつけられてうれしかった。(まる)」
初めての体験でしたが、真剣に紙漉きをしたり、楽しそうにお花や色を付けていました。出来上がるのがとても楽しみです。



《地域の話題》

地区・保育園・小中学校合同運動会 初の開催



6月1日土曜日、美麻小中学校グラウンドで、小中学校とみあさ保育園、地区の運動会を初めて同日に開催しました。好天に恵まれたこともあり、年々参加者が減ってきていた運動会も約400人と大勢の方にご参加いただきました。午前中は学校種目を中心に行い、午後は、子どもたちが各地域に入り、教員の皆さんも地域に分かれてもらい、交流を図りながら競技に参加していただきました。

子どもたちは大人の声援を励みにし、大人は子どもたちから元気もらう。活気あふれる美麻らしい運動会となりました。準備や片付けも、今年は学校と合同で行う事ができ、お互いの負担軽減にもなりました。

初めての試みでもあり、準備不足の面もありましたが、参加された多くのかたから、同日開催



して良かったとのうれしいお言葉をいただきました。

来年度も、地域の方からの要望や改善点を反映した、同日開催の運動会にしたいと思います。
＜美麻公民館＞



≪ 地域の話題 ≫

先進地視察研修報告

本年の視察研修を7月13日に実施し14名の参加がありました。総会時に支所より「ぼかぼかランド美遊」の活用方法について相談を受け、美麻地域づくり委員会でも同様の検討を進めている

とのことから、合同の研修会となりました。視察先を北相木村のシェアリング・エコノミー、諏訪市のリビルディングセンター・ジャパンと岡谷市のfabスペースの3か所を視察しました。



①シェアリング・エコノミー（北相木村）

まずは、北相木村シェアリングエコノミーですが、村役場の職員の方が休日にも関わらず対応いただき、資料も沢山用意いただきました感謝です。総務省の「シェアリングエコノミー活用推進事業」という助成を受け事業を実施しているとの事でした。対象の施設はダム建設時の現場事務所であるとのことで、美遊の半分くらいの建物でした。人口規模や環境が美遊とよく似ており、課題等について共感し、また各地に似たような施設があることを認識しました。

シェアエコノミーとは、物・サービス・場所などを、多くの人と共有・交換して利用する社会的な仕組み。自動車を個人や会社で共有するカーシェアリングをはじめ、ソーシャルメディアを活用して、個人間の貸し借りを仲介するさまざまなシェアリングサービスが登場している。

②リビルディング・センター（諏訪市）

その後、諏訪市のリビルディングセンタージャパンを視察、建物は建築会社の3階建てビルを地元の方が譲り受け、古材等を販売しています。よくある板が、〇千円と決して安いものではないのですが、様々な日用品も中古品として扱われ視察中は土曜日ということもあり、お客さんが絶えない状況でした、うらやましい。

リビルディングセンターとは、古い家を手作業で解体し、柱や床など再利用可能な建材や道具などを再生して販売するリサイクルショップ

<http://rebuildingcenter.jp/>



③fabスペース「ハナレ」（岡谷市）

最後に岡谷市のハナレというfabスペースにお邪魔しました。最先端のレーザーカッターやデジタル刺繍機など全県から利用者が訪れるとのこと。この施設は場所と機器を貸し出すお店で、視察中には地元の保育士さんが子供の為の用具を作っている姿がありました。工作器具を含め草刈り機や軽トラックなどについて美麻にも需要があるのかなと感じました。視察を通して美遊の新しい活用方法の参考となる部分が多く、視察研修の情報を役立てられればと思います。

広報部会長 北沢直樹

fabスペースとは、ものづくりに興味がある方が利用できる工房スペースです。レーザーカッターや3Dプリンタなどの専門機材を利用できます。

<https://www.fab-hanare.com/>

《コミュニティ・スクールの話題》

しずみそりで しずまなかったよ！

7月から全校の皆さんや地域の方に協力してもらい、ペットボトルを集めました。2学期に

ふねをプールで浮かべました。ぼくたちのチームのふねは、じょうぶでしずまないふねでした。友だちがエンジンになってくれて、とっても早かったので、一ばんさいしょのきょうそうのとき、一ばんでよかったです。「たのしかったなー。」
たけだ りゅうごさん

ぼくは、ペットボトルのふねを浮かべました。しずみそりだったけど、しずまなくてよかったです。たのしかったです。
あおき もえとさん

今日、がんばってつくったふねを浮かべました。一回おちたけどおぼれないでよかったです。たのしすぎて、やめられなかったです。

いしわた あすかさん



プールへ行ってふねを浮かべてのりました。ぐらぐらしたけど、ふねからおちなくてよかったです。とちゅうで先生がふねをひっくりかえしました。たのしかったです。きよ

ぼくは、プールでふねを浮かべました。五人のつてもしずまなくてよかったです。さいしょ、きょうそうをしました。ちゃんとうごいてよかったです。とてもたのしかったです。やすまつ たいじゅさん

地域の皆様、ペットボトル集めにご協力ありがとうございました。 (文責 2年担任 野本和幸)

北アルプス国際芸術祭に向けて、全校で草木染め

「今日は、仲良し班で草木染めでコースターを作りました。私はかき氷と花を描きました。私の気に入った色はアヤメの赤むらさき色です。なぜ、かき氷を描いたかということ、夏と言ったらかき氷だからです。私は、草木染めをしたのは初めてでした。もっといっぱい作りたいと思うくらい楽しかったです。家でも玉ねぎなどでやってみたいです。色のつく草木はなんでもつくのか、本で調べてみたいです。また、たくさんきれいな色をつくって、自分だけの手ぬぐいをつくってみたいと思いました。」

5年生 田中 晏子さん

来年、2回目の北アルプス国際芸術祭が開催されることになり、市内全校で前年度芸術活動が行われました。今回は、草木染のコースターを制作し、来年の芸術祭期間中には市内の飲食店舗で使われるそうです。子どもたちがつくった作品で来場者をおもてなしできるなんて素敵なことですね。



《コミュニティ・スクールの話題》



まさか！に備えて

9月に入って初めての登校日となる2日の業間休み、『予告をしない』『休み時間』『担任が不在（5年生以上）』という想定で今期3回目となる避難訓練を行いました。多くの子どもたちは机の下に隠れたり、落下物から身を守るために頭を抱えながら柱の近くで体を小さくしている姿がみられました。

その際、上級生から「大丈夫？」と下級生を思いやる声かけがみられる姿や、副校長先生の体育館への避難指示がでるとすぐに整列するための声かけが誰ともなくでる姿に、子どもの成長を感じました。一方、突然の放送に教室内で立ちすくむ子も見られましたので、今後に向けての課題もはっきりしました。

その後、1年生は消防車の乗車体験、2・3年生は学校外消火施設確認ツアー、4～6年生は消防防災課の遠藤課長によるクイズを交えた「自分の身は自分で守る」講話、7～9年生は心肺蘇生法、AED体験、避難はしご降下体験と

発達段階に応じた体験活動とともに、全校で火災の怖さをするために煙の充満したテントを通りました。

今回、北村分団長さんをはじめとする大町市消防団第6分団の皆さんや、多くの方からご協力をいただいたこともあり、緊張感の漂う有意義な訓練を行うことができました。



最悪を想定した避難訓練



児童・生徒の感想（抜粋）

・私にとって何が一番訓練だったかというと「先生がいない」「3人いない」「休み時間」ということです。放送が流れて少しパニックになってしまったけど、落ち着いて「みんな並ぼう」と声をかけられました。（5年）

・避難訓練のあと、防災学習がありました。消防の方に、災害時にどうすればいいか聞き、びっくりすることがありました。例えば、地震の時はスリッパをはいて逃げたほうがいいとか、エレベーターでは全部の階のボタンを押すなど知りました。正確な情報を知りえたので、これから生かしていきたいです。（6年）

・今日は突然避難訓練がありました。体育館に集まった後、心肺蘇生法、AED、梯子の使い方、煙の体験をしました。私はAEDの音声が苦手です。ですが、いざとなったら使うしかないなので、しっかり見ました。どんな人が、いつ、どこで急に倒れてしまうか分かりません。もしかすると、私も倒れるかもしれません。でもAEDができれば、少しは変わるんです。その少しの可能性が上がるように、少しずつ頑張りたいです。（8年）

・避難はしごを降りるとき少し怖かったのですが、本当だったら降りないといけなかったので、使えるように練習できて良かったです。（8年）

・机に隠れてから小学校棟に行くかどうかみんなて話し合った結果「最後付近から行く」という結論に至りました。この判断はよかったと思います。無事にみんな避難できてよかったです。（9年）



《コミュニティ・スクールのお話》

みんなでたどり着いた八方池



2度の延期を経て、いよいよ向かった八方池。7・8年生で力を合わせ、声を掛け合いながらわいわい楽しく登ることができました。咲き誇る高山植物、池に映る友の姿、雲の隙間から遠くに見える白馬や美麻の景色、すれ違う人々とのあいさつや会話…山の楽しみをともに味わうことができました。

今回の登山では、前は全然しなかった挨拶ができました。しかも、知らない人に自分から積極的に挨拶をすることができてよかったです。一番は楽しく登りきることができたのが嬉しかったです。景色がキレイで360度美しい緑で囲まれていてすごかったです。（岡田悠翔）

山登りをしていると、ほかの登山客の方たちがたくさん声をかけてくれました。みんなでいろんな話をしながらわいわいするのが楽しかったです。係では、特に後半は周りに気を配れるようになって、統率係をやってよかったと思いました。小学生の時の班長とは違って、統率は心配りがすごく大事だと思いました。（間藤仁美）

八方池から見えた空や、リフトに乗って涼しくなるなか高山植物を見ることができたのがとても気持ち良かったです。霧で見えなかったのが急に晴れてよく見えるようになった部分も「こんなに違うんだ！」と驚きました。自然を満喫することができたし、みんなと話をしつつ山を登るのもとても楽しかったです！（石井真世）

プレゼン講習会と演習

今年で9回目を迎える池田諸苗先生を迎えてのプレゼン講習会が、9月6日、ランチルームで行われました。自己紹介から先生の名前のふりがなが「やまざきけん」と表示され、みんながドッカンと笑い声。その後も楽しい雰囲気の中、パワーポイントの表示や配布資料、読み上げる文章についての注意点を教えていただきました。6時間目には、先生の前で発表の演習をし、助言をいただきました。9年生の発表は、流石であり、特に助言後の発表については池田先生から「中学生の発表としてレベルが高い」とお褒めの言葉をいただきました。文責 青沼健二



《コミュニティ・スクールのお話》

たくさんの味が経験できる学校給食（小中学校給食試食会）



8月29日（木）1年生と転入生の保護者を対象とした給食試食会が行われました。子どもの日頃食べている給食に舌鼓を打ちながら、準備や片付けのようすを見ることができました。

保護者の感想

- ・野菜嫌いな子に細かく野菜を刻んであり、やさしい気配りをさせていただいてよかったです。
- ・すべて美味しかったです。チンジャオロースの中にセロリを薄く切って入れてあると聞きました。手が込んであり、驚きました。バランスを考え、ひと手間かけていただいて、とてもうれしく思いました。
- ・献立の発表では、豆知識も知ることができたので勉強になりました。
- ・お誕生日の子がいて、皆でHAPPY BIRTHDAYをうたっていたのが微笑ましくてよかったです。食後の片付けもテキパキしていて感心しました。

8月29（木）30（金）、7年生は美麻地区内の11ヵ所、8年生は大北地区近郊を含めた多くの場所で、職場体験学習が行われました。ここ数年、学校では7年生には勤労観を育むために指定された体験場所で、8年生には職業観を育むために自分で職場を選ぶ方式をとっ

ております。体験前にはキャリア教育として「仕事とは何か」を考える事前学習を行い、事後にはまとめ学習を実施しました。多くの方のご協力のもと、この体験を経て、また1つ成長することができました。



「働く」とはどういうことか？



職場体験学習のまとめから

- ・自分にあった仕事につき、疲れたことが楽しみに変えることができること
- ・努力して実ったらそれが「働く」ということ
- ・お金を稼ぐこと。だけどそれが自分の「やらなきゃいけないこと」でもあって、だ

んだん楽しくなってくる。自分がやったんだ!! という成果が出て、うれしさもある。

- ・自分は相手が笑顔になって帰っていくような、毎日が楽しく、仕事が好きになるようなことをやってみたい。
- ・自分の好きな仕事として楽しんでいることがわかった。また地域の人役にたてることをやっていた。

《インフォメーション》



「つなぐ」市民科

9年生の市民科は、過去と未来を「つなぐ」、美麻のお店を「つなぐ」ための調査活動です。現在は50年前の美麻を知るために地域の方へのインタビュー活動と、よりよいお店同士のつながりをつくるワークショップを行っています。

つなぐれ地域のお店 ②

美麻地区のお店をリレーで紹介します。

Cathy's Café & Bar 居酒屋キャシー

■営業時間

平日 11:30~17:30

(平日の夜は2日前までの予約のみ)

土日、祝 11:30~22:00

(17:30以降居酒屋営業)

■お問合せ：070-4291-0388 石田

誰でもこんな時があると思います。

頑張った後の晴れやかな気分の余韻を楽しむため家族で楽しいひと時を過ごしたい誰かに愚痴を聞いてほしいちょっと一息つくためただ単にお酒が飲みたいなんとなく、まだ帰りたくない一人でご飯食べたくないとその時に、是非私達のお店においてください。

心より、お待ちしております。

■おすすめMenu

特製ハンバーガー、焼きたてワッフル、台湾ルーローファン(煮込み豚肉かけご飯)、自家製湯葉ぎょうざ、よだれ鶏など

ご予算に応じて特別料理のご用意もできます。



特製ハンバーガー



■編集・発行

美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info